

猪苗代高等学校 進路だより

平成30年5月7日（月）発行

新年度が始まり、一か月が過ぎました。新しい環境にも慣れ、少し余裕も出てきたことでしょうか。今までは目の前のことを懸命に行ってきました。さて、次は視野を広げて遠くを見通すことが大切です。「自分はどんなことをして、どんな風に社会で生きていきたいのか」を考え、その目標に向かって進みはじめてみましょう。

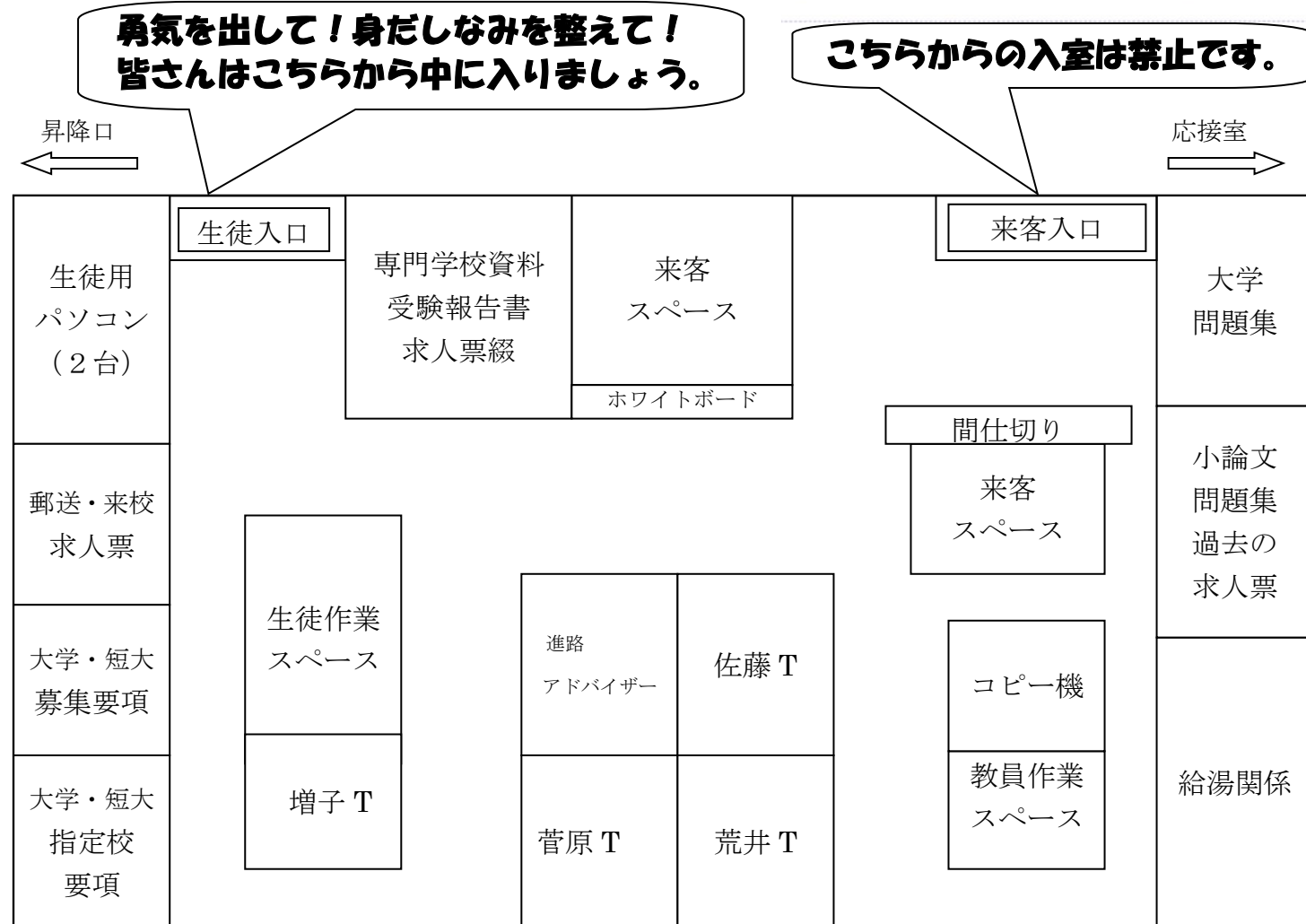
この「進路だより」は、生徒の皆さんに必要な情報を月1回のペースでお届けします。ぜひ皆さんの進路実現に役立ててください。もっと詳しいことが知りたい時や相談したい時は、気軽に進路室へおいでください。皆さんが訪ねてきてくれることを心待ちにしています。

◇進路室について◇

・入室時には次のことに気をつけよう。

- ① 服装や頭髪を整える。
- ② ノックをする。→「失礼します。」
→「〇年〇組の〇〇〇です。」
→「〇〇先生に用があって参りました。」
(用事が済む)
→「失礼しました。」

・進路室配置図は下のようになっています。



◇「進路の手引き」を活用しよう!!!◇

【 1 学年 】	【 2 学年 】	【 3 学年 】
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の興味・関心のある事柄を探し出し、仕事に結びつための道筋を調べる。 2. 自分の適性を知る。 3. 仕事について考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 興味・関心のある内容を絞り込み、内容に関して深化させる。 2. 具体的な職業についての考えをまとめる。 3. 具体的な進路の方向性を考える。 (2学期前半までに) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的な進路先の最終決定と試験に向けての対策をする。
進路の手引き活用例 <ul style="list-style-type: none"> ● ライフプラン ● 自己分析 ● 職業研究 ● フリーター ● 入試の種類 ● 進学とお金 ● スケジュール ● 資料 	進路の手引き活用例 <ul style="list-style-type: none"> ● 社会問題 ● 希望職種・上級学校調べ ● 公務員試験について ● 進学とお金 ● 求人票の見方 ● スケジュール ● 資料 	進路の手引き活用例 <ul style="list-style-type: none"> ● 面接マニュアル ● 面接の質問事項例 ● 礼状の書き方 ● 履歴書の書き方 ● 希望企業の研究 ● スケジュール ● 資料

◇進路室メンバーから◇

- 増子 健一：進路と針路を考える。将来どのような職業に就くのか、どのような道に進むのか、それが「進路」を考えることかと思えます。それに対して、「針路」の「針」は磁石の針、つまり羅針盤（大海原をいく遠洋航海の船がどの方向に航行しているかを知る道具）を意味しています。つまり、人生の羅針盤を持つ、それが「針路を考える」ということです。自分がどのような生き方をするのか、それをしっかり考えながら、理想的には「針路」を土台にして「進路」を考えて欲しいと思います。
- 菅原 三佳：良いスタートを切るためには、ゴールを見据えることがなによりも大事です。何をしたいのか、何ができるのか、自分自身と正面から向き合ってみましょう。
- 荒井誠太郎：皆さんが希望する進路を実現するためにサポートしていきたいと思えます。一緒に悩み、考えましょう。「考える力」を養い、培い、自分で何とか生きていける力をつけていきましょう。
- 佐藤さくら：進路を決めるため、これから色々な選択をすると思えます。その時に最善の選択ができるよう、まずは自分自身と話し合い、情報収集をしましょう。いつでもお手伝いします。頑張りましょう！

◇進路実現のために◇

4月21日に株式会社さんぼうの村井和夫先生をお招きし、三学年保護者対象の進路講話を行いました。進路実現のために今からすぐにはできないこととして、以下のことを教えていただきましたので皆さんに紹介します。

- ・真面目な生活態度・高校生活（授業、服装、あいさつ）
- ・欠席・遅刻・早退の防止
- ・部活動・生徒会活動・奉仕活動への積極的参加
- ・各種検定・資格の取得
- ・新聞を読む・テレビ、ラジオのニュースを聞く習慣をつける

どれもやる気次第で実践できるものばかりです。ぜひ明日から実行していきましょう！

